

イサオ さんの 大ウナギ。



「ホラッ、太いががとれた」と道すがら軽トラを停めて見せてくれたイサオさん。

思わず拝んでしまいましたくなるほどの大ウナギがとれていました。「これはあ太かったら、まあ10年は生きちゅうろうねえ」84歳にして、毎日のようにウナギから鮎からおさえに川に通うイサオさん。特にウナギは難しく、通常は何十個と仕掛けをしても一匹もかからないということも珍しくもないほど、素人では到底お目にかかることができないウナギですが、漁師歴70年という長年の技術と根気と、あとは日ごろの行いでしょか、この時期イサオ名人の軽トラには再三ウナギの姿を見ることが出来ます。



岩の場所や形までを覚えていてる名人の元にこうした大ウナギが稀にやってきます。

さてさて馬路の天然ウナギですが、自分達が楽しむ程度の量しかとれません、本当に運が良ければ、うまじ温泉に遊びに来た際に温泉レストランで食べられるチャンスがあるかもしれませんね。

幻のウナギ様。



去年の夏のこと。「夏の自由研究はウナギをとる事」と意気込み、ハエナワ漁に動んだ子どもでしたが、夏休みの間の釣果はゼロとなってしまう「これも勉強」と切り替えをしていたところに、なんとなんと教えを乞うた師匠からの差し入れが。自由研究には釣果はゼロと書いたものの、川で頑張る小さな漁師を村民たちは放っておけなかったように天然ウナギを何匹も差し入れてくれました。助け助けられ、小さな漁師はまた、今年もウナギ漁をやることでしょう。



編集後記

夏には鮎漁もそれぞれ解禁され、その川の恵みをいただく事はもちろん、解禁日は村の行事のように人が集い、皆が祝います。「川がはじまる」ことは村の中の一番のイベントなのです。だからこそ、日ごろから川の景観にもこだわりたい、村の有志が集い安田川のこれからを考える会でもします。自分たちだけが豊かになるのではなく、川も豊かになるように。その考え方がこのきれいな川の水を生んでいるのでしょう。

馬路村は川を中心に集落が成り立ち川とのつながりは暮らしの一部となっています。春にはアメゴやウナギ漁、

山村留学生、募集中。

馬路村ヤナセ小中学校では、自然の中でのびのびと暮らすことができる山村留学制度を平成9年より活用し、たくさんの方の山村留學生がともに暮らしてきました。

現在募集中につき、田舎に興味のある方はぜひぜひ、お問い合わせください。

「お問い合わせ先」馬路村役場 ヤナセ支所
電話 0887-43-2211

馬路温泉

ツルツルのお湯です。
ゆっくりここにまませんか。

宿泊やお問い合わせはこちら
0120-44-2026

令和7年 夏
発行
馬路村農協

うまじむし新聞

川が、はじまる。



かわあき。

6月1日。

村民は「川あき」と祝い
安田川は竿をたらす人々で埋まる。

釣り糸の先の
おとり鮎に神経がとび、
じっと無心に川を見つめる。

子どもから
おんちゃんたちまで
みんなの川がはじまる。

